

3.7.13

令和3年7月13日

木津川市議会議長 森本 隆 様

会派名 れいわの会

代表者名 玉川 実二

令和3年度政務活動費に係る収支報告について

木津川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、  
別紙のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和3年度政務活動費収支報告書

会派名 れいわの会

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位：円)

科 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 ・ 会 議 費		
広 報 費	272,497	広報紙発行、
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
資 料 作 成 費	2,220	事務局コピー代
資 料 購 入 費		
事 務 費		
合 計	274,717	

3 残額

0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

○支 出

(単位：円)

科 目	使 途 項 目	支 出 額	支 出 内 容
調査研究費			
	調査委託費		
	交通費		
	宿泊費		
	自動車借上料		
	使用料		
研修・会議費			
	会場費		
	機材借上費		
	講師謝金		
	会費		
	交通費		
	宿泊費		
	茶菓子代等		
広報費		272,497	
	印刷製本費	272,497	会派広報発行 (R3.4/18, 7/10)
	役務費		
広聴費			
	会場費		
	機材借上費		
要請・陳情活動費			
	印刷製本費		
	交通費		
	宿泊費		
資料作成費		2,220	
	印刷製本費	2,220	事務局コピー代
	原稿料		
	委託料		
資料購入費			
	書籍購入代		
事務費			
	事務用品購入費		
	備品購入費		
	事務機器賃借料		
	通信費		
合 計		274,717	



領収書等貼付用紙

整理番号	3 - 1		
支出年度	令和3年度	支出年月日	令和3年 6月 4日
科 目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	<input type="checkbox"/> 1 : 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 : 研修・会議費 <input checked="" type="checkbox"/> 3 : 広報費 <input type="checkbox"/> 4 : 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 : 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 : 資料作成費 <input type="checkbox"/> 7 : 資料購入費 <input type="checkbox"/> 8 : 事務費		
政務活動費金額	183,700 円 (137,775 円)		

【領収書等証拠書類貼付】 れいわの会だより 第8号

領 収 書

令和3年6月4日  
平成35年6月4日

れいわの会 様

領収金額	7	1	8	3	7	0	0	円
------	---	---	---	---	---	---	---	---



但し 議会だより 18000部  
折込料

上記の金額領収いたしました。

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦

〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4  
TEL.0774(72)0064 FAX.0774(72)1064

請求書

令和3年4月13日

れいわの会

様

下記のとおりご請求申し上げます

請求書番号	品 名	数量	単価	金 額
-	議会だより No.8	19000		1100000-
-	折込	11	57000-	570000-
-				
-				

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦

〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4  
TEL.0774-72-0064 FAX.72-1064

振込先/南都銀行木津支店[当座] 001162

京都銀行木津支店[普通] 42583

口座名義人/西本印刷(株) 代表取締役 西本晴彦

消費税	167000-
合計	7183700-

領収書等貼付用紙

整理番号	3 - 2		
支出年度	令和 3 年度	支出年月日	令和 3 年 7 月 10 日
科 目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	<input type="checkbox"/> 1 : 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 : 研修・会議費 <input checked="" type="checkbox"/> 3 : 広報費 <input type="checkbox"/> 4 : 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 : 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 : 資料作成費 <input type="checkbox"/> 7 : 資料購入費 <input type="checkbox"/> 8 : 事務費		
政務活動費金額	179,630 円 (134,722 円)		

【領収書等証拠書類貼付】 れいわの会だより 最終号

領 収 書

令和 3 年 7 月 10 日  
平成 31 年 7 月 10 日

れいわの会 様

領収金額	4	7	1	7	9	6	3	0	円
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---



但し 議会だより 最終号

上記の金額領収いたしました。

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦

〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4  
TEL.0774(72)0064 FAX.0774(72)1064

請求書

令和 3 年 7 月 7 日

れいわの会

様

下記のとおりご請求申し上げます

請求書番号	品 名	数量	単価	金 額
-	議会だより 最終号	19100		1,060,000円
-		" 3		573,000円
-				
-				

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦

〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4  
TEL.0774-72-0064 FAX.72-1064

振込先/南都銀行木津支店[当座] 001162

京都銀行木津支店[普通] 42583

口座名義人/西本印刷株式会社 代表取締役 西本晴彦

消費 税

163,300円

合 計

1,223,300円



相楽中部消防組合消防本部「新庁舎予定地視察」

## 新型コロナウイルスワクチン接種始まる

### 令和3年度一般会計予算について

令和3年度の一般会計予算は311億円、対前年比9.9%増で過去最高額となりました。歳出面においては施設老朽化対応、内水対策、JR奈良線複線化事業負担金、教育用タブレット端末のリース料等、更には新型コロナウイルスワクチン接種など大幅な増加が見込まれており、財政健全化に向けた新たな改革が必要であると考えます。

施政方針では、市政運営の基本的な考え方をはじめ、多くの施策や事業が示されておりますが、優先順位をつけ経営指標を設定し、市の経営を行うことを提言致しました。

### 新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望

京都府に発令されていた緊急事態宣言は2月28日で解除されましたが依然として予断を許す状況ではありません。

一方、府では3月5日から医療従事者等へのワクチン接種が始まり、高齢者から順次接種を進められる見込みです。れいわの会、新風コスモスの会、公明党の連名により市長に対し、以下要旨の要望書を提出致しました。

- ◇ワクチン接種を速やかに行うため、適時情報収集を行い、万全な体制を整え、接種予算の変更にも速やかに対応すること。
  - ◇ワクチンの安全性・有効性、副反応等、及び接種日程等の具体的な情報を適時分かりやすくホームページ等で周知すること。
  - ◇現場の実状に応じて柔軟な対応を行うこと。
- また、ワクチンロスが生じないよう、国・府と十分に協議し連携して対応すること。

### 令和3年度を迎えて

れいわの会は「市民のために働く会派」として、6人で新年度のスタートをきりました。本年度もよろしくお願い致します。

## 代表質問



谷口雄一  
たに ぐち ゆう いち

### 「GIGAスクール元年」の幕開け

将来を見据えた学校教育環境の充実を

未だコロナ禍の収束が見通せない中、子どもたちの豊かな未来を奪うことは決してあってはなりません。未来を担う子どもたちの可能性に応えるために、子供たちはもとより、子育て世代への支援は重要であると考えます。

① ICT教育の推進に向けて、教職員の指導力は万全が。また、情報モラル教育は計画的に進めるべきでは。

② 令和3年度は本格的にICT機器を活用した学習活動がスタートする。2月末に市内小・中学校児童生徒1人1台タブレット端末の整備が完了し、4月に学校ICT学習推進チームを設置し学校支援を開始する。AIDドリルを導入し、従来の一斉に同じ問題を解く形態ではなく、一人ひとりの理解度に応じた学習を実現していく。情報モラル教育は、重要な課題であり、通信会社や警察等の関係機関と連携しながら進めていきたい。

③ 「小学校及び中学校の在り方検討委員会」について、将来の児童生徒数の減少期を見据えた適正化だけではなく、学校教育全般の在り方を検討すべきでは。

④ 教科担任制や小中一貫教育など、義務教育9年間を見通した教育の在り方やICTを活用した学校間の連携など、様々な可能性を審議していただく。また、学校が地域・コミュニティの拠点との観点から、保護者、地域住民の方との共通理解を得ながら進めていくことは重要である。

令和3年度から2か年をめぐり基本計画を策定し、その後、段階的に中学校区単位で学校や地域の実情に応じた具体的な整備計画の協議を行うことを予定している。

※GIGAスクール構想「Global and Innovation Gateway for All」の略で「全ての人にグローバルで革新的な人口」という意味を、文部科学省が打ち出した教育政策

### コロナワクチン接種始まる

最初に、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。また、罹患され闘病生活を送られている皆様の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

さて、コロナ禍の収束に向け前途に光明を見出すワクチン接種が、京都府では3月5日から順次進められております。国を挙げたワクチン接種事業では、医療機関に従事される皆様をはじめ、関係される行政の方々等には、大変なご苦労を強いられることと存じますが、市民のために絶大なご支援を願ひ申し上げます。当事業について市長に要請書を提出致しました。(表紙参照)

### 一代一業にみる飽くなき挑戦

世界を代表するトヨタ自動車では、その家訓に「一代一業があり、現在のトヨタ自動車の原点である織機事業から始まり、自動車事業、住宅事業を興し、現4代目の豊田氏が、スマートシティ(情報通信などの新技術によるマネジメントで全体最適化が図られる持続可能な都市)という「街づくり」を推進しています。京都府においても関西文化学術研究都市をエリアとし、2030年頃に実現される未来社会の先行実現を目指し「フューチャーシティ構想」の申請手続きを進めているところです。

議員を含む自治体のリーダーには、次世代を担う子や孫の時代を見据え、輝く未来社会のために「一代一業ならぬ、一期一業」を強く推進していくべきと自省を兼ねて、そう考える次第であります。

### 未来社会を考える際の根本的な理念

先日、Webセミナーで未来の社会を検討するフューチャー・デザイン・ワークショップに参加しました。セミナーで印象に残ったのが、著名な経済学者や大学教授がフューチャー・デザインを語る中で、世代間の利他性をどのように追求するのか等が議論されていたことでありました。変わりゆく社会においても、ウェルビーイング(心身と社会的な健康を意味する概念で、満足した生活を送れる状態、多面的な幸せの意味。)がいつの時代でも最も大切なものであることを政治理念とし、議員後半戦に挑んでいきたいと思っております。



玉川実二  
たま がわ じつ じ

### これからの市づくり

今回、これからの10年間の市づくりを見据えた「第2次都市計画マスタープラン」が提案され、可決しました。

市の現状は、市の中心地にあたる、URの撤退により民間企業の開発進み人口が急増する一方で、相楽・平城地域や加茂・山城など旧集落地域の人口は減少している状況です。

財政面では、合併後10年が過ぎ合併算定替えによる約6億円の交付税の減収や、人口増加や企業誘致により税収は増えたものの、インフラ整備や保育・教育施設の整備、さらには福祉関連の支出は毎年増加し、厳しい財政状況は今後も続くと推測します。

その中、5年度の完成に向けた「新名神」へのアクセス道路として「城陽井手木津川線」が国道24号バイパスの位置づけで着手しました。この道路は基幹道路として、木津中央地区から木津川架橋を北進し、市は南北軸と位置づけこの道路を中心に今後のまちづくりに取り組もうとしています。

地域ごとには、城山台の民間開発による人口急増は確かに想定を越えていたとはいえ、今後も明確なまちづくりを示す事が重要です。私なりに提案してきたいと考えます。特に、中部消防の移転は、現消防署の問題点を考えれば妥当な判断であります。今後は防災面で一層の組織強化を望むところです。

一方、加茂・山城の人口減少を抑制するための施策が必要です。まず加茂地域から木津中心市街地への新設道路が必要だと考えます。また、山城地域は、「城陽井手木津川線」周辺のまちづくりに期待します。

大略的に述べましたが、勿論、いろいろな問題をきめ細かく対応しながら、今回述べたまちづくりに向け、私は活動していきたいと思っております。



倉 克伊  
くら かつ よし



## 一般質問



いとう きみえ  
伊藤紀味枝

### 小川内水対策の 排水能力が毎分400トン超えに

Q 施政方針に「小川流域の浸水対策に、新たな排水ポンプ施設を設置事業を強力に推進する」とあり、当初予算にも土地購入費1億8580万円が計上してある。小川流域の新たな排水ポンプ施設設備の場所はどこか。

A 既存の排水ポンプ場を挟んで直近東側の工場跡地です。土地は、工場跡地と木津川堤防を挟んだ北側の堤外の畑分です。排水能力は毎分240トンで、現在と合わせると、毎分400トンになる。

Q 工事のタイムスケジュールは。

A 3年度に用地取得、4年度に工事着手の予定、事業の完成時期は5年度を目指す。

Q 貯水池の予定は。

A 予定はないが、河道、幅員約30mを計画し、直接ポンプアップする。

Q 建屋に比べて敷地面積(4680㎡)が広い、将来的な考えがあるのか。

A 修繕や更新など、維持管理用のスペースが必要で、災害時の防災拠点にも考えている。

Q 木津駅東の排水問題は解消できるのか。

A 貯留施設等をつくり流出抑制をしないと賄えないと考える。

Q 地区タイムラインの策定の進捗状況は。

A 南平尾地域は策定済み、本町東地域と椿井地区は策定中、5年度末を目標に全ての組織の策定を終えたい。

Q 地域での自主防災組織の取り組みは。

A 各自主防災組織の代表者に防災士養成講座に参加し、防災士の資格取得に伴い、各地域の防災意識の向上と共助の体制の充実につながると期待しています。

### 3月定例会のコロナ感染防止対策

2月28日、京都府に対する緊急事態宣言が解除となったが、感染者減少の下げ止まりとなり、引き続きコロナ感染防止対策が必要であり、議会運営の取組みを行った。

主な取組みとして、感染リスクを避けるため、時間短縮を行い、代表質問の質問時間は基本時間15分に会派議員あたり5分を加算した時間とし、一般質問の質問時間は25分とした。

また、予算特別委員会は委員を10人とし、1机あたり1議員の着座で間隔を空け、1日の審査を質疑・答弁とも簡潔明瞭で効率的な委員会運営とし、行政部局の出席を2部制とした。

#### 初日(3月18日)

- 1部 歳入全般、総務部、上下水道部
- 2部 市長直轄組織、マチオモイ部、行政委員会事務局、議会事務局

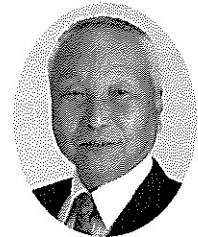
#### 2日目(3月22日)

- 1部 市民部
- 2部 健康福祉部、補正予算第1号

#### 3日目(3月23日)

- 1部 建設部
- 2部 教育部、一般会計予算・補正予算第1号の採決

その他、議会運営の取組みを行い、市民の皆さまの安全・安心と、コロナ感染拡大防止を最優先とした。



やまもと かずのぶ  
山本和延

### 空き家条例可決

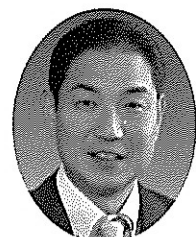
今後、増加が想定される空き家対策として、条例の必要性がある事を一昨年より訴え、取り組んで参りました。それまでは、空き家に対し六つの課で対応されてましたが、見直しの必要性を指摘した結果、統合されました。

後に、担当者が条例を制定されている先進地である明石市・名張市・丹波篠山市等へ研修に行かれ、三月議会に上程されました。

#### 【私の想い】

市の10年・20年先を見据えますと、空き家は増える事が懸念されます。その中でも、倒壊の恐れがある建物は、「空き家対策協議会」にて、空き家から「特定空家」に認定し、対応していくものです。あくまでも、個人の所有物でありますので、個人で対応して頂く事を前提としています。しかし、解決出来ない建物は、まず助言・指導を行い次に勧告・命令の手続きで進められ、それでも解決出来ない建物は行政代執行にもなる事が予想されます。訴訟等に至った場合にも対応出来る様にとの思いです。

最終日「空き家条例」は全員賛成で可決され、四月より施行されています。



たか おかのぶ ゆき  
高岡伸行

# 3月29日、相楽中部消防組合 本部庁舎と新庁舎建設予定地を視察

## 主な移転の理由

- 築46年以上が経過し、施設・設備が老朽化し耐震性能も不足している。
- 3m以上の浸水想定エリアに立地し、液状化の危険性がある。
- 職員数・業務の増加や、女性職員の施設整備の対応がない。
- 職員の訓練室や、住民対象の訓練・体験スペースが不足している。



現本部庁舎にてレクチャーを受ける

## 庁舎移転先

当該予定地は、土砂災害や液状化現象が発生するような危険な地域には指定されていません。

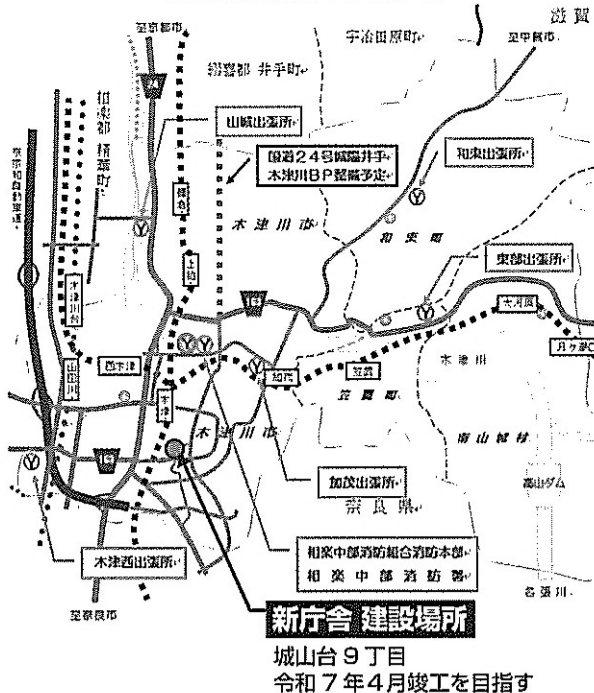
建設には、地質調査や必要に応じ地盤改良などの工事が施工される予定。また、現在の敷地より大きな面積を保有し、救急・救命など、より充実した設備で建設される。

## 出張所の再編

将来に向けた常備消防として、消防組合の全体状況から人員・装備・車両などを多角的に配置調査し、まずは新庁舎完成と合わせて木津出張所を、次に城陽井出木津川バイパス及び周辺道路が完成した時期に山城出張所を、二段階で再編する計画である。

メリット・・・本庁に集約することで、部隊数の増加や、救急隊の専任運用が可能となり、救急活動が機能的になる。  
デメリット・・・距離により、救急車等の到着が現在より遅くなる地域がある。

## ◇新庁舎建設の位置図◇



## れいわの会の考え

現庁舎や建設予定地を視察・研修して、庁舎移転は、上記の主な理由からも必要不可欠であり、建設予定地も問題ないものとする。

また、再編計画により到着時間が現在より遅くなる地域が出る一方、救急部隊班の増加や機能の多角化を図ることにより、出動までの時間短縮が期待できる。

初動体制の充実や、住民も含めた初期救命措置の体制強化などは、市民の皆さんの理解と協力なくしてなし得ないことは事実であるが、できる限り早期に将来社会に対応した技術力・組織力・訓練などの強化・再編が必要であるとする。

皆さんのご意見をお聞かせください

E-mail reiwa.kizugawa@gmail.com

倉 克伊 ☎ 86-2835 FAX 86-4235

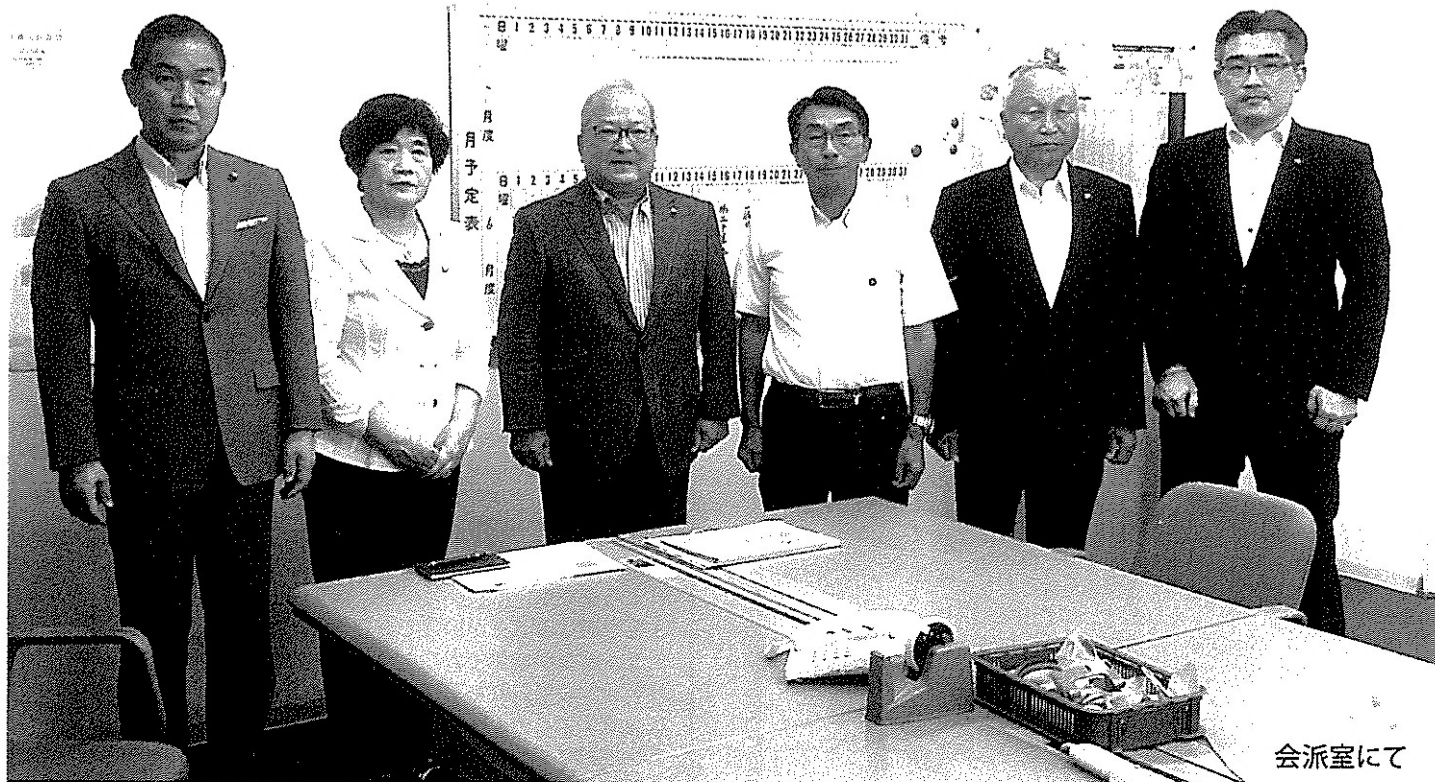
高岡 伸行 ☎ 090-8468-4833 nobu05071965@yahoo.co.jp

伊藤紀味枝 ☎ 72-1102 kimie.ito2@gmail.com

谷口 雄一 ☎ 090-6978-4084 ksp\_yuichi@yahoo.co.jp

山本 和延 ☎ 72-1894 FAX 72-1894

玉川 実二 ☎ 090-3465-6735 jitsutama@yahoo.co.jp



会派室にて

### 一般質問

#### 木津小学校改築工事の安全対策は

Q 狭い敷地内での大規模な改築工事は危険が予測される。児童たちの校舎内での安全対策は。

A 施工範囲を鋼製等の仮囲いで工事現場と学校活動場所を分離し、交通誘導員を配置。

Q 児童の登下校中と近隣住民への安全対策は。大型車両の運行計画は。近隣住民への説明は。

A 工事車両等の進入口は南側正門を予定、登下校時間帯は避け、交通誘導員を配置。大型自動車などの運行許可申請し、交通安全に配慮。学校関係者や地元地域長に説明し、隣組に回覧、隣組長に説明会を行う。

Q 工事中における教職員と工事車両や児童クラブの送迎車の駐車場所は。

A 近隣の公有地や民有地を借用。工事車両は工事現場内に。児童クラブの送迎車は教職員の駐車場（8台）を利用。

#### 市道335号の歩道整備を

Q 商工会から公園都市緑化協会まで、歩道がないところや凸凹もあり危険である。整備計画は。

A 歩道単独の整備ではなく、車道も含めた整備が必要。現在、道路構想計画を作成。今年度、一部区間用地取得を予定。計画的に事業を進めていく。

Q 木津小学校の西側の水路の暗渠化は。

A 4年度に事業を行う予定。



いとう きみえ  
伊藤紀味枝

<伊藤紀味枝 Tel: 090-9704-5325 e-mail: kimie.ito@gmail.com >

### 一般質問

#### 過疎化地域の移住・促進を継続するために

Q 市では、瓶原地域を「移住・促進特別地域」と位置づけ、府の制度を活用し地元と協力して受け入れ体制や農業の担い手、移住者への支援を行っている。

この事業をどの様に評価しているか。

また、過疎化が進む他の地域に拡大してはどうか。特に調整地域は、移住者は住宅と隣接する農地が購入できない。特区制度を活用して、移住環境を構築すべき。

A 木津川アートや移住促進特別制度の指定などの実施により、移住者も一定増加し、地域活性化にもつながったと評価する。

他の過疎化が進む地域に、それぞれの実情に考慮し、横展開していきたい。移住促進に向けて、地域の営農状況を見ながら農業委員会と検討を進める。

#### 山城町神童子地域の新たな太陽光発電設備計画

Q 令和2年7月に良好な生活環境の保全と、安全・安心の生活を確保する目的に太陽光発電設備設置に関する条例が制定された。

再び同地区に太陽光発電の建設計画の動きがあり、地区内や下流域住民に不安が広がっている。

・市はこの事業を把握しているのか。

・業者からの相談や協議は。・基本的な市の考えは。

A 神童子での地元説明会が開催されたとの情報は入っている。新たな事業者との面談はない。市としては、令和2年7月15日に施行した木津川市における太陽光発電設備に関する条例に基づき対応する。



くら かつよし  
倉 克伊

## 健全な財政を守りながら

早いもので市議会へ送り出して頂き三期目の後半になりました。

改めて初心に帰りますと共に、市民の皆様へ寄り添える活動を心掛けて参りたく思います。また、健全な財政を守りながら、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らせる街づくりに向けて取り組みたいと考えております。



たかお のぶ いくさ  
高岡伸行

(私の想い)

- (1)以前から議会にて提言して来ましたが、小・中学校での修学旅行における平和学習を再度、提言して参ります。
- (2)コロナ禍の折、産業振興がスムーズに図れるよう、マチオモイ部（市役所4F）と商工会とのより一層の連携を提言して参ります。
- (3)城山台地域から警察へ要望が出されております、城山台地域への交番の設置へ向けて取り組みます。

尚、6月議会では、補正予算として、市内事業者等への『新型コロナウイルス感染症対策に関連する補助金』が可決されました。今後、市のホームページ・広報誌、そして商工会より案内されますので、事業者におかれましてはご活用下さい。

## 新しい会派設立に向けて

令和元年の市議会議員選挙後にメンバー8人で「れいわの会」を結成し、木津川市の健全な財政運営に向けて、行財政改革や議会改革等の政策提言を行ってきました。

また、新型コロナウイルス感染症対策や新型コロナにより生活に大きな影響を受けた市民に対する支援策、城山台小学校の児童増加による過大規模校の課題解決、メガソーラーの設置に反対する請願の採択を受けて「木津川市における太陽光発電設備に関する条例」の制定促進、国に対して相楽中部消防組合本部の新庁舎建築に対する緊急防災減災対策償延長の要望活動等を行ってきました。

そのような中、今回をもって「れいわの会」を解散し、各メンバーの思いをもとに新しい会派設立を目指します。これまでのご理解とご協力に感謝いたします。



やまもと かず のぶ  
山本和延

## 一般質問要旨

### 人生100年時代を見据えたまちづくり

人生100年時代。正にそのような時代の到来であり、それぞれの世代が現在並びに将来社会において、より良い暮らしを送るためにどうすべきかを考え、実行しなければなりません。

国では、スーパーシティ構想の提案を自治体に募りました。「丸ごと未来都市」という壮大なドリームプロジェクトですが、目的のひとつはウェルビーイング（幸福）なまちづくりであり、いつの時代でもその目的は不変であると考えます。

多様なつながりがあり、皆が感謝し利他的に助け合っているまちづくりを目指し、微力ながら尽力してまいります。

### 未来を担う子どもたちのための教育の在り方

少子高齢化が進む日本の18歳人口は、1992年の約205万人をピークに、2020年には117万人と減少の一途をたどっています。同時に、不登校児童生徒が増加傾向にあり、万人に合わせるような教育が疑問視される中、世代ごとに変化する子どもの特性に合わせた学校づくりや教育の在り方を社会全体で考えなくてはならない時代になっているように思います。

文部科学省の統計によると「小中ギャップ」の解消や自由な教育課程の設定、9年間の学校教育目標を決め、一貫した教育を行う新たな学校種である義務教育学校が2016年に22校であったのが2020年には126校が開校するまでに至りました。

本市においても旧態依然のやり方ではなく、次代を担う子どもたちのために、未来を見据えた教育・学校の在り方について政策提言を行ってまいります。

<玉川実二 Tel: 090-3465-6735 e-mail: jitsutama@yahoo.co.jp>



たまがわ じつ じ  
玉川実二

## 一般質問

### エッセンシャルワーカーに対するワクチン接種を迅速に

いまだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、学校、幼稚園、保育所では3密を避けることが困難であり、日常生活に欠かせない職業でありながら、感染と隣り合わせの緊迫した日々を過ごされている状況です。このような方々にとって、ワクチン接種は、自身の感染予防のみならず、クラスター発生防止や、その保護者やご家族に対しても大きな安心感をもたらすものと考えます。

Q 優先枠を設ける等の柔軟な対応が必要では。

A 新たな枠を設けるには、ワクチン供給の問題、あるいは医師・看護師等の協力といった調整も必要となり困難と考えている。ただし、教職員等が子どもたちと接する機会が多いと考えており、府に対して、大規模接種会場で枠が空く状態であれば、対策を講じていただけないかとの要望書を提出した。

[府は6月24日、公立校の職員等について、府の大規模接種会場での接種対象とすることを発表した。接種期間は6月27日～7月12日。対象者は、公立の保育所、幼・小中高の教職員、放課後児童クラブの指導員等。]

Q 12歳以上からの接種について、本市の方針は。

A 新たに接種対象となった12歳～15歳の方々には、今後、接種券の発送を準備している。接種に関しては、保護者同伴もしくは予診票に保護者同意の署名をしていただく対応となる。

<谷口雄一 Tel: 090-6978-4084 e-mail: ksp\_yuichi@yahoo.co.jp>



たに ぐち ゆう いち  
谷口雄一

## 【ご挨拶】 会派の発展的解消に際して

れいわの会は、本最終号の発刊をもって解消致しましたことを謹んでご報告申し上げますと共に、これまで当会派にお寄せ下さいましたご支援並びにご指導ご鞭撻に拝謝申し上げます。

変わりゆく社会の中、今後もそれぞれの議員が多様性を発揮し、いつの時代も変わらぬ「幸福」という目標を一つでも多く市民の皆様が実感頂けるよう活動していく所存でございます。

どうか今後とも変わらぬご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 項 目 別 集 計 表

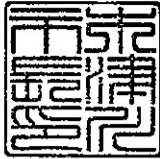

科目番号	科目名			
6	資料作成費 (印刷製本費)			
年月日	内 容	支 払 額 (充当額)	備 考	整理番号
R3.7.12	令和3年度分 事務局コピー代	2,220 円		6-1
合 計		2,220 円		

科目番号 1 : 調査研究費 2 : 研修・会議費 3 : 広報費 4 : 広聴費 5 : 要請・陳情活動費  
6 : 資料作成費 7 : 資料購入費 8 : 事務費

領収書等貼付用紙

整理番号	6 - 1		
支出年度	令和 3 年度	支出年月日	令和 3 年 7 月 12 日
科 目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	<input type="checkbox"/> 1 : 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 : 研修・会議費 <input type="checkbox"/> 3 : 広報費 <input type="checkbox"/> 4 : 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 : 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 6 : 資料作成費 <input type="checkbox"/> 7 : 資料購入費 <input type="checkbox"/> 8 : 事務費		
政務活動費金額	2,220 円		

【領収書等証拠書類貼付】 事務局コピー代

No. _____				納入通知書兼領収証書			
納入者		しいわの会				様	
令和 3 年度		会計					
科 目	款	( ) 諸収入	項	( ) 雑入			
	目	( ) 雑入	節	( ) 雑入			
	細節	雑入 ( )					
金額		¥ 2,220					
納入の内容		コピー代					
納入期限							
本市収納金融機関へ納入してください。 令和 年 月 日							
木津川市長		河井 規子				領収日付印 	
上記のとおり領収しました。							
【納入者保管】							

※重ねないで裏面をのり付けしてください。